

政務活動費に関する調査・概要について、ご報告いたします。

【報告期間】令和元年5月1日～6月30日及び、令和2年1月1日～3月31日迄

日頃の政務活動のなかで、区民の皆さまの声をお聞きしてまいりました。政策提言を行うために、実際に実施されている状況の把握や現場の確認、他都市の状況把握、比較検討が必要であり、区内各所の調査と共に区外の調査を行いました。政務活動費は、議員1名/190,000円/1ヵ月の支給。令和元年5月～6月及び、令和2年1月～3月計950,000円支給されました。政務活動として、950,923円支出し、不足分923円は自己負担といたしました。

1、調査研究費 125,204円

テーマ：若者支援、高次脳機能障害、SNS相談、高層マンション防災、グローバル教育、トイレトレーラー、子ども食堂、レジリエンス、終活、児童虐待防止、性的虐待など。

- ・調査研究のための視察、団体・NPO・専門家等へのヒアリングなど。
- ・政策提案に関するウェブアンケート調査の実施

2、研修費 90,070円

研修名：『けんこう子育て・とうきょう事業』『関東を中心にした医療の将来』

『近未来をみすえた教育議論』『働き方改革』『多胎児家庭への支援を考える議員勉強会』

『第1回よかりんく講演会「ホンネで語ろう発達障害」』『地方自治体は子どもの問題に何ができるか？』『区政・市政報告の新たなチャンネルとしての動画広報』『学校教育における多文化共生の取り組みと初期日本語教室きずな』『議員提案の虐待防止条例と対応困難な施設内虐待について』『くすぶる若者の破壊力を創造に変える』

テーマ：子育て支援、医療、教育の未来、働き方改革、区政報告のあり方、虐待防止など。

3、資料費 31,784円

資料作成、調査研究その他の活動のために必要な図書、資料等の購入

書籍名：『東日本大震災 震災市長の手記』『未来政府 プラットホーム民主主義』『これからの「正義」の話
をしよう いまを生き延びるための哲学』

『教育格差』『症例から学ぶ輸入感染症 AtoZ』『他者と働く』

『教室で使えるコグトレ 困っている子どもを支援する認知トレーニング122』

4、広報活動費 163,767円

調査研究活動、議会活動、区政等について、区民の皆さまに対する広報活動など。

区内外での区民相談、議会活動及び区政について、区民の皆さまからの政策に関するご要望及びご意見を伺うなど。

5、事務費 302,018円

事務機器、事務用品の購入、通信料など。

6、人件費 238,080円

事務作業、政策提案に関する分析作業など。

7、超過額 923円

以上、ご報告いたします。